

麻しん（はしか）患者の発生について（第7報）

5月4日（金）、昭和区の名古屋第二赤十字病院から名古屋市保健所に「名古屋市が公表した麻しん患者と接触していた可能性のある方々に、発熱等の症状がある」旨の情報提供があり、名古屋市衛生研究所が検体について遺伝子検査を実施したところ、5月5日（土）に2名が麻しん陽性であることが判明しました。

また、検査に並行して、本市が患者の疫学調査を実施し、下記の内容を把握しました。
名古屋市保健所等は引き続き、健康観察等を実施していきます。

1 患者Aについて

（1）概要

10歳代 男性 市内在住 中学生 ワクチン接種歴2回

（2）行動等

4月17日（火）

～19日（木） 4月24日（火）本市公表の麻しん患者（市内在住）と学校にて接触

5月1日（火） 中学校登校、夜に学習塾A利用

5月2日（水） 朝、発熱症状のみ出現。天白区内医療機関A受診（隔離されて受診）

5月3日（木） 発熱症状続き、自宅静養

5月4日（金） 発疹症状出現、名古屋第二赤十字病院受診（隔離されて受診）

5月5日（土） 名古屋市衛生研究所による遺伝子検査の結果、麻しんと確定

※施設等への移動に公共交通機関の利用なし

2 患者Bについて

（1）概要

10歳代 男性 市内在住 中学生 ワクチン接種歴1回

（2）行動等

4月17日（火） 4月24日（火）本市公表の麻しん患者（市内在住）と学校にて接触した

～19日（木） 可能性あり

5月2日（水） 中学校登校

5月3日（木） 午前8時30分頃から午後4時頃 市内公園を部活動にて利用
夜、発熱症状出現。名古屋第二赤十字病院受診（隔離されて受診）

5月5日（土） 名古屋市衛生研究所による遺伝子検査の結果、麻しんと確定

※施設等への移動に公共交通機関の利用なし

3 麻しん（はしか）について

- ・4月11日、本市において麻しんの患者が発生（12日公表）以降、県内で16名確認されております。4月21日に1名、23日に2名、24日に3名、25日に2名、26日に2名、5月1日に4名、5月5日に2名の発生が新たに確認されました。
- ・今後、さらに麻しんが広がる可能性があるため、麻しんを疑う高熱と発疹の症状が現れた場合は、事前に医療機関に連絡し、麻しんを疑う旨を伝えた上、医療機関の指示に従い早急に受診していただくことが大切です。また、受診の際は、周囲に感染を広げないよう公共交通機関の利用は避ける必要があります。
- ・1歳（第1期）と小学校入学前年度（第2期）に、MRワクチンの定期予防接種を忘れずに実施することが肝要です。また、妊娠している方は麻しんワクチンの予防接種ができませんので、ご注意ください。